

2006年4月～12月実施（岡山県）

2006年春から冬にかけて、一般初心者を対象に各種オリエンテーリング行事を仕掛けてきた岡山県協会。その一端を紹介する。

5つの異なる行事

2006年春から冬にかけて、実施した行事は以下のとおりです。

1. 4月20日（木）笠岡市白石島にて医療関係法人の新入社員研修行事
10:00～16:00 フリーポイント0
約40名参加（22歳前後の女性主体）
2. 5月14日（日）笠岡市白石島にて青年会議所のリーダーシップ研修会
10:00～14:00 フリーポイント0
約30名参加（30歳代男性中心）
3. 5月20日（土）27日（土）倉敷市市民学習センター初心者講座
13:30～16:00 座学、実習、ポイント0
延べ14名参加（7～63歳男女約同数）
4. 6月5日（月）吉備青少年自然の家
中学校の野外活動3日間行事の一環
9:00～16:30 ポイント0&フリーP
180名参加（中学1年生男女約同数）
5. 11月23日（木）岡山市操山
秋の里山実りのフェスティバル
10:00～15:00 ポイント0&広報
20名参加（8～60歳代男女約同数）
6. 12月9日（土）岡山ドーム
スポレク IN OKAYAMA2006
10:00～15:00 ポイント&トレイル
60名参加（8～75歳男女約4:6）

若者はノリがいいです！

4月20日医療関係法人の新入社員研修の一環として行われたこの行事は、昨年全日本リレー大会に合わせ整備した88箇所巡りお遍路の一部31箇所を使用し、制限時間3時間の一斉スタートのフリーポイント0でやりました。コントロールは全てほこらで、フラッグは既設の耐水加工の札（A5版）です。

各グループ5名の8グループの研修用班に分かれ、最初40分の初心者説明のあと、会場周辺を歩いて地図の見方、コンパスの使い方等の体験実習約30分実施後競技開始しました。

説明は必ずしも十分でなかったと思いますが、トップは2時間20分、5グループが満点で、最下位は16点でした。（得点は1箇所1点で満点は31点、時間オーバーは1分1点としました。）

いずれも22歳前後で、研修を終えた後は、看護師、介護士、栄養師等になる人たちですが、新入社員研修を続けているためか、女性主体（男1、女4）のためか、レベルがそろっているためか、どのグループも非常にまとまりがよく、楽しみながら回ったようで非常に好評でした。上位と下位の差も思ったほどには開きませんでした。

帰りの船も一緒だったので、「オリエンテーリング、最高！」とみんな手を振って見送ってくれました。

次の日曜日に笠岡市大会が予定されており参加を勧めたのですが、残念ながら休日ではなく仕事（研修）ということで次回の参加を期待しています。



49番札所みつけた。



65番札所。若いっていいですね。

青年？は役割分担して

5月14日の青年会議所行事はリーダーシップ研修会として行われ、4～5名のグループで回ったのですが、地図読み、時間係、クイズ解き等の役割をそれぞれメンバーに与えていました。

青年会議所のリーダーシップ推進委員会が企画したのですが、「集団の中におけるそれぞれの役割・立場でのリーダーシップを実践するために、グループ内で一人一人にそれぞれの役割の中での判断力・分析力などを発揮し、小集団で団結しゴールすることを目指す」というテーマがあったようです。（青年会議所HPから引用）

コントロール数11のフリーポイント形式で実施しましたが、制限時間2

時間の中での時間差スタートです。コースは今回用に設定しました。

7グループ中トップは1時間30分、4グループが満点、最下位は7点でした。

それぞれ社会経験のある人たちであり、日常活動で気心知れたメンバーでもあるため、無難にこなせ楽しめたようです。また、リーダーシップ研修としての明確なテーマを設けていたこともよかつたのではないのでしょうか。

主催側との調整の中で、少し難しいコントロールも数個設定したのですが、難易度の高いコントロールを探すのが面白かつたようで、ゴール後のお互いの話もルートチョイスよりも、いかに難しいコントロールを探したかの自慢話になっていました。

これはこれでよかつたのかもしれないし、こんな設定もあってよいのではないかと感じた次第です。



このコントロールにはクイズがありました。「地図を重整して南南東の方向に見える港の名前はなんと言うか」だった？（写真はHPから引用）

7歳から63歳まで

次は、昨年秋から開催している倉敷市市民学習センター主催のオリエンテーリング初心者講座です。初めて開催した昨年の講座は、わずか5名の受講者でしたが、今回は12名の参加を得ました。

2回に分けての講座で、初回はパワーポイントによるオリエンテーリングテクニックを含めた初歩の説明と簡単な地図読み実習。2回目は公園で指導者をつけての体験オリエンテーリングです。

パワーポイントによる説明ですが、過去数回の運用の中でだいぶ修正を加え、何とか説明し易く解り易い（自費です）内容にでき、スライド資料を印刷し手元資料にも用意した結果、かなりの理解が得られたように思います。

実は、この説明資料の中に村越さんの作成資料を使わせていただき、行事

後報告したところ、是非投稿するよ
うにと言われ、拙文ゆえの重い腰を上げ
て書いたのが本原稿です。

それでも、7歳から63歳まで年齢差
がある場合の説明は、どこにターゲッ
トを置くか本当に難しいです。

ただ、NHKためしてガッテンで村
越さんがされていた整置の実習と、会
場の館内案内地図を使った整置実習は
子供から年記者までよく理解してもら
えたようです。特に館内案内図での整
置は、この部屋はどちらの方向かとい
う投げかけから理解が得やすかったよ
うで、いくらビジュアル画面での説明
をしても幅広い年代層への理解には、
実習に勝るものはないと感じました。

また、翌週の公園での競技実習は人
数が少なかったのでマンツーマンで回
れたのですが、7歳の子供に理解してもら
うには、相当易しいコースにしない
とだめなことを再認識しました。

大きく差が出る中1生徒

3日間の野外活動行事の中の1日を使
った中学1年生対象の本行事は、過
去2回同じ場所で他の中学校行事とし
て経験済みでした。

まず、野外活動日の4日前に学校授
業として2時間の授業時間を使い、体
育館でオリエンテーリングの内容、歴
史等幅広く説明するとともに、過去の
大会で残っていたOMAPをサンプルとし
て全員に配っておきました。

野外活動の当日は、最初に1時間ほ
どかけ、実際の地図を見て現地を歩き
ながら地図読み、整置等の実習を行い、
その後1分間隔でスタートしました。

生活班単位ということで1グループ
6名とちょっと多めですが、30組に分
かれてのスタートです。

コースは、17コントロールで6.5km、
早く帰ったグループには、さらに8コ
ントロールのフリーポイントコースも
用意しました。開始時間等の関係でコ
ース途中で30分の昼食コントロールを
設けています。

この30分を含め、トップは1時間52
分、最下位は4時間30分と大きく差が
出ました。

フリーポイントもトップは27分程度
と、上位グループはいずれも早い結果
で、グループのまとまりも非常によく
順調に回っています。

これに比較して最下位付近のいくつ
かのグループは、途中でメンバーがば
らばらになったりして、真剣に回ろう
という意識も希薄だったようでした。

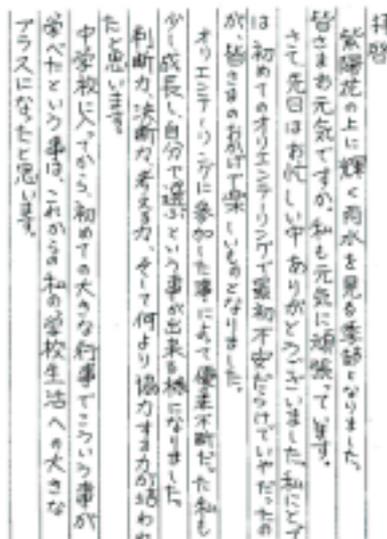
このグループは、昼食のときも先生
にこってりと説教されていました。

過去2回実施とほぼ同じコースで、
所要時間もほぼ同レベルの結果となり、
どうしても上位と下位の差はこれくら
いについてしまいます。学校間の差もあ
るようには見受けられませんでした。

ただ、今回の下位グループはチーム
ワークが例年より悪かった印象です。

グループで回る時の役割分担、協力
等についてページを割いてかなり説明
したつもりですが、聞いていない？説
明が悪い？。大勢への周知理解は本
当にむずかしく、この程度が限界なの
かもしれません。

後日生徒達から次のような絵と礼状
をもらいました。(抜粋)



最後の文面は割愛しています。
なかなか印象に残る内容で、苦勞は
吹き飛びます。来年も引き続きやりた
いものです。

オリエンテーリングブース

晩秋、初冬と、たて続けてですが、
多くのレク的な競技等をまとめて催し、
一般参加者を募るイベントに、オリ
エンテーリングもブースを構えました。

いずれも内容としては、体験用のミ
ニオリエンテーリングと初心者向けの
オリエンテーリングの説明PRコーナ
ーです。

秋の里山フェスティバルでは、
1:1,000のOMAPにコース距離0.6kmの
易しいコースを設定しました。特製の
(10×13cm)ミニフラッグ使用です。

20名の参加でしたが、小さい子供が
あった、あったといって一生懸命回っ
ていました。本当に簡単なコースでし
たが、十分だったようです。

PRコーナーは大変寒く離れた場所
にあり、スライドの通し説明は1回のみ
でしたが、併設して流していた05WOC
のDVDビデオはかなりの人が眺めてく
れており、「オリエンテーリングって走
るんか〜」が、大方の感想でした。

一方スポレクIN・OKAYAMAでは
1:2,000のOMAPでポイントとトレイル
の2コースを用意し、60名の参加を得
ましたが、残念ながら双方参加の人は
いなくポイント主体になってしまいま
した。

先の反省から初心者向け説明スライ
ドは、最初から自動スライドショーに
して、競技参加する人には、その場
でやり方の説明をするようにしました。

また、直前にJOAから入手できたオ
リエンテーリングPR用チラシ、直近の
大会、講座案内の配布等徹底してPRを
行いました。

ここでもWOCのDVDを流しましたが、
2つのスクリーンでの画像と会場内に
掲げたオリエンテーリングの幟旗は、
会場を訪れた数百名の人の目に留まり、
今後につながるものと確信しています。



子供達がスクリーンの前で正座して
WOCのビデオを見つめていたのが
印象的でした。

(佐藤旭一 記)